

東北の工時報

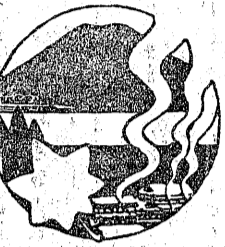
行 日 廿 日 十 日 一 回 三 月 毎
吉 梅 越 堀 行 人 縣 福 編
社 報 時 工 商 北 東 所 行 發
六 圓 一 金 行 一 部 部 料 告
錢 十 一 錢 卅 金 月 一

眞學校觀・眞家庭觀

吉田 庄太郎 寄稿

早や、待望三十六年の四義に一切の問題は懸つて以月に直面した。流石は三十つて存在するからである。六年の三月ではあつた。端的に之を一言するな。去る一月より僅かに三ヶらば歐米式直譯翻譯の一語月間に於ける出来事即ち大即一事即一切につきるから事件即非常時につきて、心である。言ふ所の歐米式直ある日本人たる大家族制度譯翻譯とは何ぞや。個人主義の本部體たる小學校觀、眞義即營利主義即打算主義即家庭觀ならば、多少なりと排他主義即自由主義たるにも自覺する所あつた、然るあるを以てである。言ふ處べくして漸く待望三十六年の自由主義とは何ぞや。極の非常時とは果して如何なる端なる利己主義の權化たるの眞義即暗示たるやの一端の大事にあるのであつた。につきて、おぼろげながら又も言ふ處の權化的極端ならも知られしはずと余は確る利己主義とは何ぞや。其信するからである。今や余の根本眞諦は事大主義たるは一々列擧はせぬが、去るにあるを氣付かぬ一事にある二、二六早曉の事變とは果るのである。再び云ふ處のして何事を暗示するやの眞事大主義とは何ぞや。米露意義に徹するや否やの根本支を見よとの一言にある。

初夏ともなれば 温泉情緒と



「横向温泉」は耶麻軌道沿て好適地なる事言を俟たな尻驛から東北約一里半耶麻、泉質は含鐵炭酸泉で腦郡吾妻村にある吾妻山麓の病、眼病、神經衰弱、婦人盆地にあり標高三千三尺の病等に能く殊に子寶の出来高地であるから避暑地とする名湯と云ふので婦人の浴夏は横向温泉へ

どざれ須賀川 牡丹の名所

今も昔も燃えて咲く

名實共に東洋一を誇り過般いて蓄もふくらみ十日の開身賣りの危機を脱した文部園を控へ、園内にはズラリ省天然記念物指定の須賀川と賣店が設けられ左記の如牡丹はいよ／＼開花も近づく花期中の催しのプログラ

- ▲も既に決定して花の咲くのを待つてゐるが満開は大體廿日前後と見られてゐる
- ▲縣下理髮業者大會十八、九日
- ▲須賀川競馬廿日
- ▲都市對抗柔道大會廿四日
- ▲須賀川町管發電創立廿五周年記念祝賀會廿五日

鈴 鈴蘭の花の如き 美しき心ならば 木(君)も典型的的教育者 兒童教育に生涯を捧げ 春の海原の如く 人生幸多からん 福島市第一小學校長 鈴木春治

躍進鹿島村の今日は 志賀直哉村長の

献身的努力の賜物

農村の盛衰は國家の盛衰に由るものと村民一同深くに關する重大問題であるか感謝してゐるような、亦鹿に携る努力が必要である島村の大黒柱として重きを志賀村長は語つた、農村なされつゝある志賀直哉氏更生の實をあげるには村民は明治二十年四月廿一日生一同意志投合して精神的携れ現に村長、信用組合長まぬ努力が必要とする。努力會議員の名譽職に携り資力村を更生する道であり性篤實、村内平和を第一理忽對は村を生かす道である想としてゐる。更生氣分にこの「努力」と「忽從」の四字燃ゆる鹿島村は税金の滞納を生命として明朗な村を建す知らず村民は小作爭議設しなければならぬと志賀の何たるかを解せず、人口村長初め村民一同ゆるまざ一千九百九十五人の大世帯る努力を捧げ農村發展の實であり副業には養兔、養狸を上げ今や押も押されぬ地果實、苺等であるとの由位にあるも志賀村長の手腕

小名濱建設の先覺者 小野晋平氏

男らしき男なんてめつたぬ地位にあるも小野晋平氏にないものだ、男らしき男の活躍によるものと地方民男性的な男、男の中の男!!から慕いよられる快男兒だ小野晋平氏は男の中の男だ昭和十二年度に於てその完大小名濱建設の爲め努力成を見んとする商港大小した結果押も押されぬ名濱町を背負つて立つ縣會



小野晋平氏 縣會議員 小野晋平氏

鑄造界の第一人者 天才的銅像製作家 工藤源吉氏

平町七丁目天才的技術業員を愛する事我が子を愛家として知られてゐる工藤源吉氏の眞心には變りがないの源吉氏は金よりも藝術を愛し清き眞心を持つて一歩々々曙光の彼方を目指してのるまざる努力を持つてこと當り、人の二倍も三倍も働らき従業員と一緒に工場で働らく、氏は温厚で親方ぶらない親切な人だ。亦從

教育者のプロフィール

草野校より勿來へ榮轉した五十嵐新平氏は朗らかに語つたです「皆さんから榮轉御目出度うの手紙や祝電があつた、教育者としてこれ以上の嬉びはありません」と二寸と先生は處女の様にテレたです。身體強健異常なエネルギーとコミソリの如く鋭い批判力と、めつたに恐つた事のないジエントルマン、それでゐる押味のるる快男兒だ。氏は勿來就任以來スポーツ校長のニツクネームさへある名校長として町民父兄より期待の的となつてゐる。

木村忠太郎

鹿島町土木建築業

古山忠三郎

萬金物商 新山町 電話十番

回春院

院長 安田善一 事務長 後藤吉次郎

五周年記念

衆議院議員

八田宗吉
鈴木辰三郎

縣會議員

野崎滿藏
關內正一
小松章

蓮沼龍輔

矢內清次
山田一郎

佐藤市太郎
大竹作摩

二瓶憲二

渡邊政信

渡邊彦次郎

田代文彌

堀一郎

鈴木重顯

岩澤吉重郎

小名濱町

町長 小野晋平

助役 高木保

収入役 樋口速

課長 黒澤島雄

植田町 古川傳一

植田町助役 渡邊國之助

植田町 鷺清昇

湯本町長 石川德壽

平町長 青沼鋒太郎

草野小學校長 大平喜一郎

鹿島小學校長 小泉義治

鹿島村會議員 赤坂稔

江名町長 河野嘉藏

江名消防組頭 加澤一造

江名信用販賣購買 利用組合長 太清左衛門

上遠野村々長 榎田末次郎

同助役 永瀬幸太郎

東山温泉組合長

黒河内力

土木建築請負業 山田榮次

會津若松市榮町 根本事務所

土木建築砂利販賣業 遠藤染藏商店

鹽本本店 同町

鹽苗代町電話三番

金上村長 皆川岩美

若松市博勞町 山口儀平

若松市博勞町 電話五四番

土木建築請負業 慶徳工務所

喜多方町 小池豊喜

若宮村消防組頭 佐瀨三郎

廣瀨小學校長

喜多方町 遠山醫院

喜多方町 東海林勝美

會津野澤町 大山祇大神

神官 伊藤由造

沼尻硫黄鑛山事務所長 富川七之助

同庶務課長 深谷凌

川桁那麻軌道主任 桑原虎三郎

福島市長

佐藤澤

平電氣會社 栗原欣次郎

若松市長 佐瀨剛

山添炭礦合資會社

勿來町 電話二二番

金山炭礦鑛業所

勿來町 電話六一番

川部村三澤 江藤炭礦鑛業所

縣會副議長 東部電力株式會社平營業所

縣會副議長 小松茂藤治

小學校長 篠山廉

小學校長 千葉右近

小學校長 赤津千里

小學校長 大井勇

大井建築設計事務所平出張所長 伊達智山

農行銀行 小原良武

七十七銀行 中山毅雄

平支店長 吉田鎮政

常陽銀行 福島貯蓄銀行

平支店長 宮森常八

若松市天寧寺町 電話二四〇番

若松市天寧寺町 電話二四〇番

若松市天寧寺町 電話二四〇番

若松市天寧寺町 電話二四〇番

若松市天寧寺町 電話二四〇番

若松市天寧寺町 電話二四〇番

猪苗代町長

山本親武

酒造業 鹽谷七重郎

酒造業 淺井甚一郎

喜多方町郵便局長 春日重晴

米穀商 三田雄太郎

風間會社

千里村役場内村長 秋山義次

千里村信用組合專務 五十嵐佐多郎

理事 土谷庄一

北會津郡一箕村 消防組頭松本傳次

北會津郡一箕村 消防組頭江花利秋

北會津郡一箕村 消防組頭高橋貞壽

北會津郡一箕村 消防組頭穗積千秋

喜多方土木管監所長 須藤清藏

鹽川町長 田邊精一郎

若宮村長 山田三郎

磐城國木戶驛前 石川材木店

若瀨郡須賀川町 立公岩瀨病院

和洋金物問屋

釜屋商店

福島縣平町五丁目 電話九番九九番

磐城セメント特約代理店 三井生命保險平代理店

振替口座東京一九五六

湯本町信用無盡會社

專務 比佐賢司

沼尻鑛山小學校長 永峯彌作

福島市縣廳通 公立福島病院

電話一六六・五三八番

會社 丸伊

安達郡本宮町 谷病院

院長 谷良治

石城郡豐間村 大敷網事務所

電話十一番

湯本町 石川八郎

平鎌田町 金成國雅

土木建築請負業 強口唯七郎

福島縣桑折町 肥料問屋 齋藤小四郎商店

伊達郡桑折町 櫻川氏家

平澤屋號

須賀川町 大沼正一

植田町 秋山材木店

店主 秋山市造

土木建築請負業 佐々木喜平

平研町

石城郡豐間村 濱屋旅館

電話一九番

平四丁目 小野屋藥局

電話一四四番

久之濱町長 新妻定藏

內科一般 金成醫院